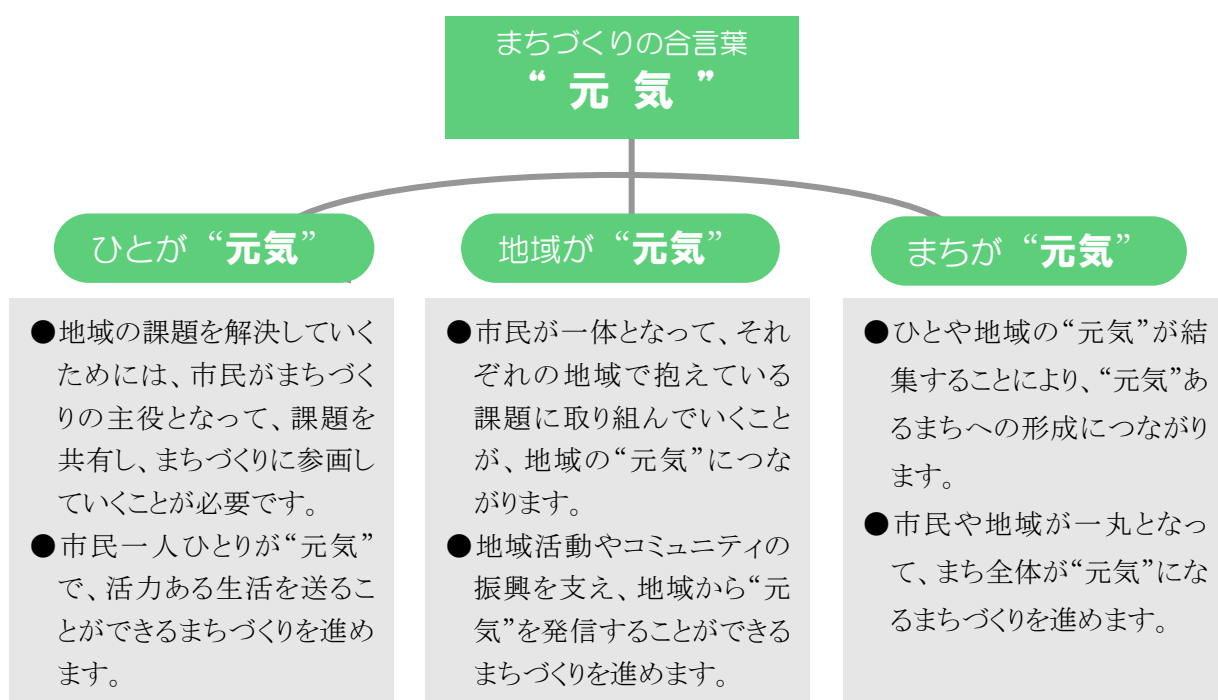


Ⅰ 序論

■第四次宇部市総合計画

1 まちづくりに向けたコンセプト

2010年（平成22年）に策定した第四次宇部市総合計画基本構想では“元気”を合言葉に、まず「ひとが元気」になり、次に「地域が元気」になり、そして「まちが元気」になることをコンセプトとして、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまちを目指しています。



2 求める都市像

まちづくりの基本理念である「共存同栄・協同一致」、「人間が尊重される都市づくり」を基本とし、行政と市民や団体、高等教育機関など、多様な主体が協働し、求める都市像の実現に向けて取り組んでいきます。

■求める都市像

みんなで築く 活力と交流による元気都市

～地域資源を共有し、みんなの元気を発信する協働のまちをめざして～

3 第四次宇部市総合計画の構成

第四次宇部市総合計画は、基本構想及び実行計画により構成します。

●基本構想

基本構想は、本市の求める都市像や中長期的な視点に立った市政運営の指針を示すものです。

●実行計画

実行計画は、基本構想に示された本市の求める都市像実現に向けた主要施策と数値目標を明らかにするものです。基本構想の計画期間である12年間で4年ずつ前期、中期、後期に分けて、それぞれ実行計画を作成します。

4 計画期間

第四次宇部市総合計画の計画期間は、2010年度から12年間とし、目標年次は、市制施行100周年を迎える2021年度とします。

■計画期間と構成

